

病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくりに係る
これまでの主な経過と今後の対応

1 これまでの主な経過

期日	内容
合併以前	・旧加須市・騎西町時代において、加須駅南口地域のまちづくりについて、様々な検討や研究を連携し進め、土地利用構想を幾度か計画するも、実現には至らず
H30.9	・済生会新病院の建設などに向けて基本協定を締結
R3.2	・「病院を核とした新たなまちづくりの推進」について、第2次加須市総合振興計画に位置付け
R4.3	・サウンディング調査という新しい手法を取り入れ、民間のニーズを探りながら、実現可能性を追求した計画づくりを開始
R4.6	・済生会加須病院が開院
R5.2	・「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」を策定 ※資料2
R5.11	・「優先的まちづくりゾーン基本計画」を策定 ※資料3 ・先行区域として「事業化想定区域(14ha)」を設定 ・サウンディング調査により、民間事業者進出の前提条件として、市が道路や調整池、上下水道、公園等のインフラ施設を整備する必要があることなどを確認 ※資料4
R5.12	・事業化想定区域におけるインフラ施設整備の概算事業費を試算
R6.6	・サウンディング調査の成果を踏まえ、インフラ施設整備の計画化や公募条件の精査が必要であることから、スケジュールを見直し
R6.8	・事業化想定区域における市として必要な取組や、道路・公園等のインフラ施設整備の工程表を整理 ※資料5
R6.10 ～11	・民間事業者への進出意向確認の一環として、現状や市の考え方等について、民間事業者(13社)への訪問による個別説明・意見交換を実施
R7.2	・民間進出の前提条件である道路・公園等のインフラ施設整備の具体化に向けた令和7年度予算案を計上 ※資料6
R7.2	・市議会の2つの主要会派から具体的な土地利用構想図が示され、これまでの構想や計画を見直すよう提案・要望

2 今後の対応

2つの会派からの提案・要望を重く受け止め、これまでの構想の考え方や方針、優先的まちづくりゾーンと其中的事業化想定区域などの見直しの必要性も含め、提案の一つ一つについて、どう取り組んでいけるか、慎重に精査検討する。